

教科・学科	数 学	科 目	数学 I	単位数	3	学年	1
使用教科書	新編 数学 I	発行者の番号・略称	104 数研	教科書の番号	数 I 104-904		
指導者名	副教材等		パラレルノート数学 I				

1 学習の到達目標

方程式と不等式、集合と命題、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
---

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項 目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 数と式	第1節 式の計算 1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>整式の整理や基本的な計算ができる。</li> <li>公式を利用して能率良く整式を展開することができる。</li> <li>因数分解の公式の理解を深め、適切に変形することができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業態度 意欲 提出物 テスト等
5		第2節 実数 4. 実数 5. 根号を含む式の計算				
6	第2章 集合と命題	第3節 1次不等式 6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の性質を理解する。</li> <li>不等式の性質を用いて、1次不等式を解くことができる。</li> <li>絶対値記号をはずすことができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業態度 意欲 提出物 テスト等
7		第4章 図形と計量				
8	特別編成授業 第4章 図形と計量	復習等 第1節 三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦・余弦・正接の定義を理解する。</li> <li>三角比の値を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業態度 意欲 提出物 テスト等
9		3. 三角比の拡張 第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用				
10	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数の概念を理解する。</li> <li>関数を表、グラフ、式などで表現できるようにする。</li> </ul>	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業態度 意欲 提出物 テスト等
11		第2節 2次関数の値の変化 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定 第3節 2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式				
12	特別編成授業	復習等				
1	第5章 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数	<ul style="list-style-type: none"> <li>度数分布表、ヒストグラムについて理解する。</li> <li>平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。</li> <li>データの分布と箱ひげ図の関係について理解する。</li> <li>偏差の定義とその意味を理解する。</li> <li>相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。</li> <li>仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	授業態度 意欲 提出物 テスト等
2		4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量の間の関係 6. 仮説検定の考え方				
3		復習等				

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	数学 I の各分野において、基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。また、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。	35/100
思考・判断・表現	数学的活動を通して、数学 I の各分野における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えたとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	35/100
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動を通して、数学 I の各分野における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用しようとする。	30/100